



岩沼政策フォーラム

佐藤 一郎

地方創生の取り組み

問 施政方針で「まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、今後5カ年の政策目標等を定め、暮らしやすい生活環境を整え、人口の維持と活力あるまちづくりに取り組む」としているが、具体的なまちづくりの見解を伺う。

市長 基本には、「地方に仕事をつくり安心して働ける」「東京一極集中を是正し、地方へ新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」「安心な暮らしを守る地域づくり」の4点をパッケージ化した政策を提案したいと考えます。

子ども・子育て支援新制度
問 27年4月から待機児童ゼロを目指すし、幼稚園での保育、小規模保育の緩和などの新しい運用となる子ども・子育て支援新制度が始まるが、待機児童解消に向けて、どのように取り組むのか伺う。
市長 子ども・子育て支援新制度を最大限に活用し、市が認可する

小規模保育事業所や事業所内に保育所を開設する事業者への支援及び認定こども園の普及を進めていきます。新制度の適用外となる認可外保育施設や保育ママの会などにも引き続き支援を行い、待機児童の解消に努めていきます。
問 施政方針で「小規模保育2件の認可に向けて協議を進めていま

待機児童解消どのように

す」とあるが2カ所合わせて何名を予定しているのか。
健康福祉部長 2カ所で34名を見込んでいます。

問 若い人が集まったり、子育てしやすいという岩沼のイメージをつくってほしいと思う。結婚したばかりの人や妊娠中の人も調査する必要があると思うがどうか。
健康福祉部長 新生児から漏れなく訪問をして状況を把握し、保育所等の情報をつなぎ、関係機関で連携をとっています。切れ目のない支援をする窓口をあらためて設けることを新年度で考えます。



小規模保育の様子

高齢者社会の取り組み

問 超高齢化時代を迎え、市民の健康寿命を延ばす対策が重要となるが、見解を伺う。
市長 高齢者福祉計画、介護保険事業計画で基本目標の一番目に、元気で健康な高齢者が集い触れ合うまちづくりを掲げています。若いころからの健康づくり、高齢期の介護予防などに市民の皆さまと積極的に取り組んでいきます。

問 要介護施設の待機者の増加に対応するために施設の増設が必要と考えるが、見解を伺う。

市長 第6期高齢者福祉計画や介護保険事業計画において、認知症高齢者グループホーム18床の新規整備及び介護老人保健施設40床の増設を計画しています。

仙台空港民営化

問 県の仙台空港臨空都市整備基本計画では、産業集積を岩沼市域へとあつたが、どうなるのか。
市長 27年度を目標年次とした計画で、東日本大震災の影響等もあり十分な成果が得られていません。県南サミットなどの機会を捉え、空港周辺の現状や市の各種計画、地域の要望等空港民営化後を見据え、直接知事に対して基本計画の見直しを要望しています。

◎その他の一般質問

- ・健康医療産業集積地
- ・岩沼インターチェンジ周辺開発
- ・火葬場建設
- ・ふるさと納税
- ・市民活動支援制度
- ・中学校部活動対応
- ・小中一貫教育

会派所属議員

- ・国井宗和、森 繁男、沼田健一
- ・佐藤一郎、櫻井 隆、佐藤淳一